この取扱説明書を受領するにあたって、製造者のアマチュア無線機の使用に係る書類、または、アマチュア無線法の遵守の有無についても承知のうえで承知することを確認するものとします。
このセットについて、または他の紡績製品についてのお問い合わせは、お近くの紡績産業サービス拠点にお尋ねください。
また、その際には、必ずセットの製造番号（末尾に書かれている番号および保証書に記載している数値）をご用意してお知らせください。

なお、手触りをいただくときは、お客様の作業状況を考慮のうえ、お知らせください。
「セットモード」

- インタープリートの設定
- シンプルモード設定
- プログラムの設定
- ベースモードの設定
- パラメータの設定
- オーディオ設定
- プログラム設定
- パラメータ設定
- オーディオ設定

「その他の説明」

- バックアップ設定
- ストレージ設定
- パラメータの設定
- オーディオ設定
- プログラム設定
- ベースモード設定
- シンプルモード設定
- インタープリート設定
- プログラム設定
- パラメータ設定
- オーディオ設定

「セットアップチャート」
ご使用の前に
（ご使用いただく前に必ずお読みください）
電源について

本機には、付属の電源ケーブル（FBA-11）の上に、I
プッシュで各機の4-20mA電流ハッピーを接続しておりま
すので、電源用などを保証付けてご使用ください。

また、本機にはオプションとしてモニタアダプター
"PA-10"を用意しておりますので、同系電源
（100V～120V）を使用して運転することもまま
す。なお、同系電源を直接して運転する場合にはペー
ジに示す当方をよくお読みになり、過電圧、過電
流等に十分注意し、適正にご使用ください。

また、電源電圧を変更すると機構等の問題が発生
し、"**"の表記が付
スプレンに建極周
いを出すとさらに信頼
性には逆效果をもっ
2868のローラーにパンチします。

なお、電源電圧が低下すると、ディスプレイの表示
が遅くなり、感度を支障ないため、本機の
性能を劣化させずなくなりますので、電源の安定
や安定の電源への注意を守ってください。

電圧を変更するとときは、必ず元と同じ機
器で適正な電圧を設定してください。

非電圧や接続の異なる電圧上信用するとき、電圧の帯
でもしくなります。また、FBA-11はインバーサ
電圧および接続上信用の電圧ケーブルです。FBA-11
電圧では絶対に使用しないでください。なお、長時間
電源のためには、アルカリ型電池の使用をお勧めします。
アナテナについて

本機のアナテナアンテナは、DC100V系の電圧を
整体的に使用することを目標としています。これ
で、高品質で長寿命のアンテナが使用できます。

なお、本機のアンテナは、DC100V系の電圧を
使用することを目標としています。これで、高品質で
長寿命のアンテナが使用できます。
付属品
● テープバーター FVA-14 (A5200000) 1
● テープフィニッシャー CLP-3 (A5200000) 1

オプション
● NC-65A 削刻装置ユニット （A5190000）「チェーンダイヤル器 CA-1D」と組み合わせてご使用ください。
● NC-70A 削刻装置ユニット （A5190000）「チェーンダイヤル器 CA-1D」と組み合わせてご使用ください。
● NC-34A FSB-21切削装置ユニット （A6180000）「チェーンダイヤル器 CA-1D」と組み合わせてご使用ください。
● NC-23A FSB-20車両長周期調整器 （A5300000）「チェーンダイヤル器 CA-1D」と組み合わせてご使用ください。

IC-41 （FBA-1M）およびIC-33、38部材セットケース （A5900000）

IC-62 FSB-21切削装置ユニット （A5200000）

IC-31 FSB-20車両長周期調整器 （A5200000）

IC-32 FSB-21切削装置ユニット （A5200000）

IC-33 4.5V、1200mAh NI-CD電池パック （A6000000）

IC-34 5V、300mAh NI-CD電池パック （A6000000）

IC-35 5.5V、300mAh Ni-Ga電池パック （A6200000）

IC-36 モニターアダプター （A6400000）

IC-37 ステッカー （A6400000）

IC-38 超小型スペーサーコード （A6500000）

IC-39 インテリジェントキーパック （A7000000）

IC-40 テープカッターケミクス （A6600000）

IC-41 VOXヘッドセット （A7100000）
① ANT
デッキの取付用のビスの穴です。

② EAR
イヤホンまたは外音スピーカー（4Ω～15Ω）を接続するためのジャックです。
なお、ここにイヤホンまたは外音スピーカーを接続すると、内蔵スピーカーの動作は止まります。

③ MIC
外音マイクの接続を確認するためのジャックです。
カセットジャックと同様に、オプションのマイクジャックを使用する事も可能です。

④ DIAL
電源周波数の設定やメモリーチャンネルの選択を
を行うツマミです。
① BUSY/TXオンセーバー
本体の設定状態を表示するボタンです。受信信号が入るとときには緑色、送信表示のときは青色に点灯します。

② LOCKスイッチ
ネットワークの設定を変更時にロックするスイッチです。
このスイッチを上向きにセットするとターゲットはロックされ、ネットワークの設定が変更されなくなります。

③ VOL./SOLキー
音量を調整するボタンです。設定値を変更するときはSOLキーを押し、設定値を変更した後、押して設定します。

④ キーボード
本体の各機能を操作するキーです。

⑤ スピーカー
内蔵スピーカーの位置です。

⑥ マイクロホン
内蔵マイクホンの位置です。送信するときには、ここに向かって話しかけます。

⑦ ディスプレイ
運用時の状態を各種の設定状態を表示する表示表示器です。
① PTTスイッチ
通常の手話を切り換えるスイッチです。このスイッチを押すと送信状態になります。離すと受信状態に戻ります。

② SOL OFFスイッチ
本機のスワッチ設定（スイッチ）による操作を一時的に解除するスイッチです。
また、キーボードのOFFキーを押した後に続けてこのスイッチを押すと、このスイッチを押している間だけ、受信機能を"OFF"することができます。

③ LAMPスイッチ
サインランプ（側面の青赤黄ランプ）の開閉をタッチスイッチで操作します。
このスイッチをタッチするとランプが点灯し、OFFに表示されます。
また、マイクロホンの手話の方をタッチした後にも続けてこのスイッチを押すと、ランプが点滅し、受信機能が解除されます。
また、外見部材の部品のときには、このランプの電池にかかわるです。常に消灯ランプは点滅状態となります。

④ POWER
本機の電源を"ON"/'OFF"するスイッチです。このスイッチをタッチして電源を"ON"、またOFFにした後は、電源を"OFF"になります。
① ベルトクリップ取り付け用ビス
付属のベルトクリップ“CLIP”を取り付けるためのビスです。

② UNLOCKレバー
電池ケースを押さえたまま操作するレバーです。このレバーを左方にチェーンと、電池ケースを外すことができます。

③ 電池ケース
手動リリーススイッチは未装着し、あらかじめ取り外しができる電池ケースです。
なお、電池ケースの下部には、外部電源で使用するための電源入力端子も付いておりますので、点火しないようにご注意ください。
基本操作

（使いかけた）

この項では、本機の電源の入れかたや各種操作などの、基本的な操作方法について説明します。
準備

1. 電池ケースの取り付け

2. 電池ケースの取り外し

電池ケースを電池及び乾電池2本を挿入しておき、電池ケースを元通りの位置にスライドさせて取り付けます。

注意点

1. 電池ケース "PA-14" を使用して下さい。

2. 本体を電池に差し込む際、極性を間違えないように注意し、乾電池に使用してください。
3. 電池ケースを元通りにします。

電池ケースに電池を入れるときは、必ずまっすぐに電池を挿入してください。電池の極性が反対である場合は、電池が短絡し発熱します。この場合は、電池を挿入しないでください。

4. アンテナを再設置します。アンテナを設置するときは、アンテナの極性がまっすぐに保たれていることを確認してください。

●付属アンテナ“YHA-SZ”の取り付け方法

1. アンテナを取り付けるときは、アンテナ接続端子の外側を指先で持ち上げて挿入し、アンテナを確実に貼付細工するように注意してください。

2. アンテナを取り外すときは、アンテナの接続端子を一度外し、再度挿入するという手順を繰り返し行います。
●ベルトクリップの取り付け方

1. 本体のベルトクリップは下図のように、本体背
面に取り付けたマグネット（NO: M6×3mm）を利用
して取り付けます。

2. お手持ちのピース（M6×3mm）を用意し、この
ピースにマグネットを収納する形で取り付
いてください。

●ハンドストラップの取り付け方

1. 本体のハンドストラップを下図のように、本体
右側にある取り付け穴に通し、適度に
取り付けをしてください。ハンドストラップが外れな
がらご使用ください。
受信操作

電源の入れかた/切りかた

電源を入れるときには、本体側にあるPOWERスイッチをワンタッチで押します。
また、POWERスイッチを5秒以上押し続けた後、電源が止まるまで、
ワラッパスで押すと電源 "ON"

0.5秒以上押し続けると電源 "OFF"

電源を入れたときは、下に示すような表示を確認して下さい。
電圧は14.85Vです。

電流は電流計の読みに従ってください。

○ご使用前には、電源は入っていません。

注）電圧が低下する場合は、電圧の設定を調整して下さい。

○受信状態の確認

受信状態の確認は、VFOとVFOを切り替え、電源 "ON" で行います。

○設定の変更

設定の変更は、電源 "OFF" で行います。

○受信状態の確認

受信状態の確認は、VFOとVFOを切り替え、電源 "ON" で行います。

○設定の変更

設定の変更は、電源 "OFF" で行います。

○設定の変更

設定の変更は、電源 "OFF" で行います。

○設定の変更

設定の変更は、電源 "OFF" で行います。
スケルトン間隔の調節方法
スケルトン調節とは、受信信号のノイズがないときの、PVM 5K の "二" という音を消す設定のことを指します。
なお、本機のスケルトン設定は工場出荷時に、各設定のノイズが示された状態で調整されています。スケルトンレベルは "SOL 8" に設定されていますので、誤差をできるだけ避けた状態での設定を行ってください。

スケルトン調節の際は、ドライバ・マニュアル操作でスケルトン設定を行います。

スケルトン設定を行った後、וך(DIAG) を押すと、スケルトン設定の動作レベルが次のように変わりますので、各使用の必要に応じて操作してください。
●運用周波数の設定操作

周波数設定の設定操作に付、次ページに示すように

① REAL TUNING

（ 앞으로는 이 선정 방법을 사용하겠습니다）

② VP-BP TUNING

（ VP-BP 방법을 사용하여 설정하겠습니다）

③ IMPEDANCE TUNING

（ 빈도수를 조정하여 설정하겠습니다）

設定した周波数は、周波数設定用のノートペーパー

またはコールチャンネルに記録して運用

することができます。詳しくは、30ページの "コールチャンネル操作" または40ページの "コールチャンネル操作" を

ご覧ください。
DIAL TUNING

DIALツインは、時計表示式のツインで、最新の情報が表示されます。デジタルまたはアナログの表示を受け入れます。DIALラジオは、1MHzまでの周波数を表示できます。

UP/DOWN TUNING

オーディオのUpまたはDownの形状を表示します。DIALラジオは、1MHzまでの周波数を表示できます。UpまたはDownの形状を表示します。
DIRECT TUNING

カーボンの表示のように、選択基準を正確に設定することが出来ます。なお、キー入力がある場合設定し
ておきます。基準に準拠してキー入力が必要となります。なお、キー入力がある場合設定し
ておきます。基準に準拠してキー入力が必要となります。

【ステップ幅：50Hz/1kHzのとき】

1kHz5kHz設定の場合：
キー入力の場合、

3kHzの3から1kHzの間まで導入して
行きます。

1kHzの1から0.5kHzの間まで導入して
行きます。

【ステップ幅：2kHzのとき】

1kHz5kHz設定の場合：
キー入力の場合、

2.5kHzの2.5から1kHzの間まで導入して
行きます。

1kHzの1から0.5kHzの間まで導入して
行きます。

【ステップ幅：1kHzのとき】

1kHz5kHz設定の場合：
キー入力の場合、

0.5kHzの0.5から1kHzの間まで導入して
行きます。

1kHzの1から0.5kHzの間まで導入して
行きます。
ステップ周波数の設定操作

1. ケーブルの2段階にあるスイッチを押して電源に接続し、デジタル電源に接続するためのステップ周波数が設定されます。
2. これ基準周波数を用いてステップ周波数を設定する。スイッチを押すと、ステップ周波数が「OFF」から「ON」に切り替わります。
3. ステップ周波数の設定値を変更する。デジタル電源は、電源周波数を変更する方法を示します。ステップ周波数の設定値を変更することができるです。

VFOの切り換え方法

VFOの切り換えは、メモリーのハイアドリタクターで行います。メモリーをハイアドリタクターで行い、設定するVFOを「VFO A」、「VFO B」、「VFO C」、「VFO D」、……で設定する。メモリーの設定値を変更する。VFOの設定値を変更することができるです。
●キーロック操作

不正に誤って電話を操作したとき、キー操作をロックするには、以下のようにして行います。

1. ボタン1を押します。
2. ボタン1を押すと、ボタン1の指示が切り替わります。
3. ボタン1を押したまま、ボタン1を押し続けます。

キーロック状態では、他の操作はできなくなります。
送信操作

ステップ1: 受信装置への連絡を伝える

ステップ2: 受信状態の確認

ステップ3: 受信状態の確認のための受信に備え

ステップ4: 受信状態の確認のための受信に備え

ステップ5: 受信状態の確認のための受信に備え
144MHz帯の使用区分について

平成4年5月10日付け郵政省告示第341号により、144MHz帯の使用区分が下記のように変更されましたので、平成4年7月1日よりこのルールに従って運用してください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>使用区分</th>
<th>用途</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>FM (108MHz-137MHz)</td>
<td>放送機器 (FM)</td>
</tr>
<tr>
<td>AM (160MHz-180MHz)</td>
<td>放送機器 (AM)</td>
</tr>
<tr>
<td>144MHz</td>
<td>[144MHz〜144.999MHz]</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注: 1. 規制帯は使用禁止帯としているが、緊急時または緊急事態時に必要とされる場合に使用することが認められている。
2. 144MHz帯の使用に際しては、周囲の生活環境を尊重し、無理に信号を強めすぎないようお願いする。
3. 使用帯域の変更は、使用条件を満たすことが必要である。外見の確認が必要な場合がある。

参考: 使用帯域の変更については、通信技術の進歩に伴い必要な変更が必要である。
設定方法

1. キーボードのHIGHキーを押して機器に電源を供給し、LOWキーを押すとLCD画面が点灯します。DIALキーを操作して設定値を変更します。

2. LOW1, LOW2, LOW3をそれぞれHIGH, LOWに切り換えることが可能です。設定値は、LCD画面で確認できます。

設定方法

<table>
<thead>
<tr>
<th>HIGH</th>
<th>LOW1</th>
<th>LOW2</th>
<th>LOW3</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.0</td>
<td>1.0</td>
<td>1.0</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>2.0</td>
<td>2.0</td>
<td>2.0</td>
<td>2.0</td>
</tr>
<tr>
<td>3.0</td>
<td>3.0</td>
<td>3.0</td>
<td>3.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

DIALキーを操作して値を変更することができます。設定値は、LCD画面で確認できます。
TX SAVE機能は、電源の供給が停止されたとき、記憶されるデータを保護する機能です。これにより、データの損失を防ぎます。

1. ディスプレイのOFF/ONキーやスイッチを切って電源を切ります。
2. ディスプレイのメモリを操作し、TX SAVE機能が設定されていることを確認します。
3. ディスプレイをOFF/ONするか、またはスイッチをOFF/ONにします。

この操作を繰り返すことで、データの保存を確認することができます。
応用編

（各種の機能と操作）

「基本操作」の項で本機の基本的な操作方法を説明しましたが、
この項では、メモリ操作やスキャニングなどの「各種の機能とその操作方法」について説明します。
メモリ操作

アルファ・ニューリック機器の"ON/OFF"操作

画面に表示される、メモリ機能の"ON/OFF"操作の手順を知りたいと思います。

1. POWERボタンを押して電源を切り、電源をOFFにします。
2. キーボードの[ON/OFF]キーを押して、電源をONにします。
3. 以上のように、アルファ・ニューリック機器の"ON/OFF"操作を行なうと、記憶を失うことがないようにになります。

なお、メモリの保有方法を知りたいと思います。

メモリの保有方法を知りたいと思います。

メモリーセット
シングルブロックメモリー操作

1. メモリーセットにおいて、メモリーセットの数を設定します。
2. キーボードのキーを押しながら、シングルブロックメモリーを設定します。
3. シングルブロックメモリーをセットするには、メモリーセットの数に合わせ、キーを押し続けます。
4. キーを離すと、シングルブロックメモリーが設定されます。

セミディプレックスメモリー操作

1. メモリーセットにおいて、メモリーセットの数を設定します。
2. キーボードのキーを押しながら、セミディプレックスメモリーを設定します。
3. セミディプレックスメモリーをセットするには、メモリーセットの数に合わせ、キーを押し続けます。
4. キーを離すと、セミディプレックスメモリーが設定されます。
メモリーチャンネルの呼び出し操作
メモリーチャンネルはメモリに存在するデータを呼び出しで適用する方法です。メモリーチャンネルにメモリされているデータで適用することもできます。

1. キーボードのキーを押すとディスプレイにメモリーチャンネル番号が表示し、メモリーチャンネルが呼び出されます。
2. DIALマーまたはキーを押すとディスプレイにメモリーチャンネルの番号が表示されます。メモリーチャンネルの番号が表示されます。
メモリーモード時の付属機能

メモリーモード機能
メモリーモード時には、メモリーモードで選ばれた運転用ネコをメモリーゲージに変更することができる。さらに、メモリーゲージまでの距離を変更することができる。

メモリーモード時のスイッチ機能
メモリーモード時のスイッチ機能は、メモリーゲージまでの距離を変更することができる。メモリーゲージまでの距離を変更すると、メモリーゲージまでの距離が変更される。

メモリーモード時のチャージ機能
メモリーモード時のチャージ機能は、メモリーゲージまでの距離を変更することができる。メモリーゲージまでの距離を変更すると、メモリーゲージまでの距離が変更される。

メモリーモード時のスイッチ機能
メモリーモード時のスイッチ機能は、メモリーゲージまでの距離を変更することができる。メモリーゲージまでの距離を変更すると、メモリーゲージまでの距離が変更される。
メモリーチャネル運用の解除

メモリーチャネルを運用する際は「MEOモード」に切り替えます。
キーボードにより文字を入力する方法

[図表]

DIALパズマにより文字を入力する方法

[図表]

突出した文字は誤りを示す。
コールチャネル操作

・コールチャネルの呼び出し操作

1. コーポレートの [1] キーを押す。フィードバック・
チャネルの呼び出しです。コールチャネルを呼
び出しているときはディスプレイに、“C”の表示が
あります。（14 MB/s の通話料が表示されています）

2. コールチャネルは、イベントチャネルと同
時に、運用項目の設定を変更する運用機
械やトーンメーク設定内容なども同時に行うことが
できます。またこれらの操作はコールチャネルと
共に可能であり、同時に実行することができます。

・コールチャネル呼び出し時における運用項目の設定

1. COP 画面の [ ] キーを押すとコールチャネル
に関する設定が表示されます。コールチャネル
に関する設定を変更することができます。

・シングルプレックス・セット

コールチャネルの通話変数設定値が同じ通話数をセ
ットするための操作です。

1. VFOモードにおいて、希望のコールチャネル用
通話数を設定します。

2. コーポレートの [1] キーを押す。コールチャネル
呼び出しのときと同じにディスプレイに表示されます。

3. 以上でコールチャネルに、希望通話数が設
定されます。
セミブレックス・セット

1. まず専用の専用設定し "シングルブレックス・セット" の方法で、コマンドを入力する変

2. つぎに、DIAL、または外端のデ

3. キーボードのデ

4. 以上でオートバランスに、電気機器と送受信

● ワンタッチコード

モリーチャンネル連用の解釈

コードのデキを押すと、コーディングミ

145,500
スキャン操作

1. スキャン中はスキャンボタンを押し続けると、スキャン操作が停止されます。スキャンボタンを押すと、スキャン操作が再開されます。

2. スキャン中はスキャンボタンを押すと、スキャン操作が停止されます。再びスキャンボタンを押すと、スキャン操作が再開されます。

3. スキャン中はスキャンボタンを押すと、スキャン操作が停止されます。再びスキャンボタンを押すと、スキャン操作が再開されます。

4. スキャン中はスキャンボタンを押すと、スキャン操作が停止されます。再びスキャンボタンを押すと、スキャン操作が再開されます。
●VFO調波数スキャン

スキャン・モードパネルでスキャン・モードがONの場合、
信号の強さを基に自動的にスキャンを行うだけです。

1. VFOモードで運用中にキー・ボタンの

コードを1.3秒以上押し続けると、自動的に以下の操作
が確認される。信号強さの变化に応じて、スキャンモード・スキャン
スキャン、スキャン、スキャンの3段階でスキャンを行います。

2. スキャン中に信号が強くなったhlen OFFキー

により停止すると、スキャンが一旦停止し、またもっ
と設定条件を満たすスキャンモードの条件を満たす
と、再度スキャンを続けます。

なお、スキャンモードを続ける中には、信号
波形は不規則なノイズ・スキャン（ジャンル・スキャン）
を続けます。

3. VFO変調スキャン操作は、次の方法で行え

できます。

・VFOスキャンを全てOFFに設定し、スキャンモードが

解除されるまで、信号強さに応じてスキャンを行います。

・VFOスキャンをONに設定し、スキャンモードが

解除されるまで、信号強さに応じてスキャンを行います。

・VFOスキャンをONに設定し、スキャンモードが

解除されるまで、信号強さに応じてスキャンを行います。

4. VFOスキャンをONに設定し、スキャンモードが

解除されるまで、信号強さに応じてスキャンを行います。

（もしこのVFOスキャンをOFFに設定すること）
メモリチャンネルスキャン
メモリチャンネルスキャンコントロール
メモリーモードではスキャンコントロールを実行する操作で、ひさが入力するメモリーモデルを自動的に選
択することができる
1. メモリーモードで運用中にスキャンの
／スキャン5点以上押すと、メモリ
ているメモリーモードをすぐにスキャン(送
信)状態にすることができます。
2. スキャン中に信号が入力されたとき、DIAL OFFスイッ
チャを押すとスキャンを停止することができますが、それ
で設定したスキャン状況を保存し、また入
力されてスキャン状況を変更した信を元に、スキャン状
況を再開することができます。
3. メモリーモデルスキャンコントロール操作は、次
の方法で解除できます。

DIALオフマークを押す（他のモードに移行します）
FF／CHキーやを押す（この場合はス
キャン機能が解除されるだけで、通信状態はな
りません）

スキャン操作

1. 首に、スキャンキップさせたい箇所を一括してスキャンキップ設定を行います。
   - スキャンキップ設定を行わない場合は、スキャンキップ設定を行なわないメモリーチャンネルを設定します。
   - スキャンキップ設定を行なわない場合、スキャンキップ設定を行わないメモリーチャンネルを設定します。

2. ここで、キーボードのキーを押して、メモリーチャンネルを設定します。
   - キーを押してメモリーチャンネルを設定します。
   - スキャンキップ設定を行なわないメモリーチャンネルを設定します。

3. 上記と同様に、2.の操作を繰り返し、スキャンキップさせたい箇所をすべてのメモリーチャンネルに設定します。

4. この操作を行なった後は、キーボードのキーを押すと、スキャンキップの設定が終了します。

5. スキャンキップ設定を行ったメモリーチャンネルは、上記の操作を繰り返すことにより、スキャンキップ設定が変更されます（ディスプレイの
   "▲SKP" 表示が変わる)。
5. 一時停止している間は、A の方法により完全に再開します。

PTTスイッチをフリップトグル状態で維持（この場合はスイッチを変動させないで、通常状態にて
そのまま）

DIALナビセンサ1 2クリックします。

プログラムを選択します。（スキャン、AIなど）

DIALネックレスの設定画面を選び（SELECT TUNING
選択画面のAへの変更と、最終設定した上昇速度
を画面表示数に表示されます）

プログラムの設定があります。（スキャン、AIなど）

DIALネックレス設定画面を選び（スタートボタン
に移動します）

オーガリングの設定を選び（Seros設定に挿入し
ます）
プライオリティ機能

プラチェイサー機能とは、VFOモードまたはFMモードのオースチン
メディカルで使用するために、給電用1段階モニタリングを
優先的にCD220の実装する・優先チャンネル監視機能
です。

●VFOモード時のプライオリティ操作
VFOモード時にプライオリティ機能を動作させると、
VFOで設定した周波数を変更しながら数字 eldest-
チネルを表示することに1回、体を動かすことになるので、
体を動かすことになるので、
ここでも、145.000MHzまたは66.000MHz、76.000MHz
に設定する。 Primerを含めて、プライオリティ機能
を動作させると、プライオリティ機能が
動作する。通常は特に少ないことVFO周波数を
変えることできるだけ。ただし、この内、は、優先チェー

●メモリーモード時のプライオリティ操作

メモリーモード時にはプライオリティ機能を動作させ
て、必要のメモリーチャネルを変更しながらメモリーチャ
ネルの"1"にメモリーカード数を加算する操作が
可能であることを案内します。

メモリーカードの"1"にプライオリティ設定
した状態で、モードを切り替えます。

2. オーディオデバイスが"1"から"2"に切替える
caseタイプをスレッドに設定して
プライオリティ設定が動作を終了します。

プライオリティ設定の場合に、プライオリティの設定が
動作を終了します。

3. スキャットモード設定時の場合、スキャットモードが
設定されていない場合、プライオリティ設定が動作
を終了します。スキャットモードの操作が
設定されている場合、プライオリティ設定が動作
を終了します。
送信オフセット運用

送信オフセット運用は、変動電流数に対し変動
電流数をあらかじめ求めており、変動数(シフト検
知許容値など)にシフトを含む運用にすることで有効
する方法です。なお、変動オフセット運用を行なうた
めには、各ページの送信オフセット運用時のシフト
検知許容値を求める方法により、あらかじめシフトを含む
状態に設定しております。

1. まず次のように、変動電流数を設定します
2. シールドのTHW-Kを使用して、デスプレイに変動電流数を設定します。この変動電流数をテープ(スケッチにより)に設定します。この場合、変動電流数を表示するシフト検知許容値を設定します。
3. この状態で検知をします。上記の設定値に設定した変
動電流数がボックス中の変動数で検知状態になります。変
動電流数が異なるシフト検知許容値が設定されます。

また、この場合の出力はテープにTHW-Kを

Kを挿入します。通常変動電流数を設定に
設定することができます。リピート設定時には、デスプレイにセットまたは+*表示

が表示されます。再設定する場合はTHW-Kを

Kを挿入します。
トーンスケール・ベル運用

トーンスケール運用は、特定の音を対象に「持る音」、「呼び出し音」、「乞われる音」が行う運用を行う他の音です。

なお、トーンスケール運用を行う際には、呼び出し音の「トーンスケール特有の音」を用いることから、実際に利用を改めておきます。

(1) トーンスケール運用を行うためには、オプショナルのトーンスケールネット 「FTS-20」が必要です。
(2) 任意の音節のトーンスケール音が同じでないと、トーンスケール運用を行うことはできません。

1. キーのボーダーを「○」をシフトで押すと、デスクトップが「○」の表示に変化します。
2. デスクトップ内を「×」の矢印が点滅している間（約1秒間に1回）にキーを押すと、コンデンサ状の電子がキーを押したときに、矢印が消えます。再び消えやすく、変化するので、動きの動きをトーンスケール運用に応じて変化を行います。
トーンスケルト運用

- トーンスケルト運用について
  - トーンスケルトの基本考え方
  - トーンスケルトの運用方法

- ベル運用
  - ベルの役割
  - ベルの運用方法

- ケーボードの機能
  - ケーボードの基本操作
  - ケーボードの機能解説
ページ動作

★ディスプレイに"PAGE"表示が表示され、ページ動作になります。
なお、この動作は、レベル運用が必要な動作です。
詳しくはP.568ページの"レベル運用"をご覧ください。

トリガーページ動作

★ディスプレイに"PAGE"表示が表示され、トリガーページ動作になります。
なお、この動作は、レベル運用が必要な動作です。
詳しくはP.568ページの"レベル運用"をご覧ください。

コードスクラム動作

★ディスプレイに"CODS"表示の表示が表示され、コードスクラム動作になります。
なお、この動作は、レベル運用が必要な動作です。
詳しくはP.568ページの"レベル運用"をご覧ください。

レベル運用

★ディスプレイに"LEVEL"表示が表示され、レベル運用になります。
レベル運用には、22頭までクール実装可能で、12頭のクールを設定したクールを指定するおとをします。レベル運用を行った後に結果が出られ、結果が出された後に結果が出されることが可能です。
なお、クール実装数の多いクール設定を含めたクールは、レベル運用を行った後に結果が出されることがあります。
トーン音域数の選択操作

1. キーボードのD八鍵（D八鍵を抜き消す）キーを押して音域に変更します。
2. キーボードのD八鍵を抜き消すと、D八鍵を抜き消す前の音域を再生します。
3. トーン音域数を変更するときは、D八鍵を抜き消すキーと、D八鍵を抜き消すキーを押し続けると、変更後の音域を再生します。
4. トーン音域数の変更は、D八鍵を抜き消すキーを押し続け、変更後の音域を再生します。

<table>
<thead>
<tr>
<th>音域</th>
<th>0</th>
<th>1</th>
<th>2</th>
<th>3</th>
<th>4</th>
<th>5</th>
<th>6</th>
<th>7</th>
<th>8</th>
<th>9</th>
<th>10</th>
<th>11</th>
<th>12</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>音域</td>
<td>48</td>
<td>49</td>
<td>50</td>
<td>51</td>
<td>52</td>
<td>53</td>
<td>54</td>
<td>55</td>
<td>56</td>
<td>57</td>
<td>58</td>
<td>59</td>
<td>60</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*本文は、VPGとVPGに同じ、それぞれ異なる音域のトーン音域数を組合せたことが可能です。*
ページ・コード

ページ・コードとは、ページ・コード発行を行うための情報を表すためのコードのことです。コードの種類は以下のとおりです。

1. ページ・コード
2. ページ・コード
3. ページ・コード

ページ・コードは、ページの内容を表すための情報であり、ページのページ・コードは以下のとおりです。

ページ・コードには、ページのページ・コードを表すための情報があり、ページのページ・コードは以下のとおりです。

ページ・コードには、ページのページ・コードを表すための情報があり、ページのページ・コードは以下のとおりです。

ページ・コードには、ページのページ・コードを表すための情報があり、ページのページ・コードは以下のとおりです。
また、このページの端末では、ディスプレイの
真実のモリネスをコンフォートモニターにより
そのコードをされないように取り扱ったベージュ
コードをさせることがにより、環境をベー
ジング環境にすることがあります。さらに、コードモニターの各章は次のようなものがあ
ますので、この単元に限って各コードモニターがそれ
ぞれのページコードを指定します。
1. キーボードのキーを押して画面に表示されるキーを続けて押す。下の図のような表示がディスプレイに表示される。ベーシコードの設定を行う。

2. この状態でDIALとまたはファーのキーを押す。コードメッセージのキー番号が変化すので、設定しようとするコードメッセージのキー番号にあわせる。

   ディスプレイには、ベーシコードを設定するシーケコードを設定する。（参照）

3. ここで、キー入力が終了した場合、ベーシコードを設定するキーを押す。

4. 上記3と同様に、他のコードメッセージにベーシコードを設定し続けてください。

5. すべてのコードメッセージにベーシコードが設定できたら、もう一度コードを表示します。ディスプレイの表示は運用可能状態にに戻ります。ベーシコードの設定が完了しました。
●待ち受け操作

待ち受け状態を一時解消し、ある特定の場所、または特定の場所を操作したときにのみ、相手
役からの信号を受信することのできる操作です。

なお、待ち受け操作には、特定の場所からの呼び出しを
受信できるもの（"ページー動作"または
"トリガー・ページー動作"）と、特定の場所から呼び
出しを受信したときにそのような音を鳴らすことので
ある "コードスラッシュ鳴声" の 2 種類の呼出し方法
がありますので、下記の操作を参考に、いずれかお選び
ください。呼出し方法に設定します。

メッセージのページーを押すと、呼び出し方
法のページーに一時的に切り替わりますので、お
望みの呼出し方法で設定します。
トリガー・ベーシック運用（PTC1型あるいはPTC2型などのトリガー・ベーシック積載船との連携に使用）

メスプルを含んだTPAGE（シート状のもの）が積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、そのままの状態でメスプルにメスプルを含むメスプルが積載される。メスプルは積載され、まま
コードスケルト呼び出し

コードスケルト動作で呼び出している場を呼び出す
すためです。

1. キーボードのキーを2度押して コードスケルト
動作が正常に確認し
ます。「フルマッ
タ」の表示が赤
色が点滅します。

2. コードスケルト動作中に、 「マッタベーシヨ
リ」より、キーコードを入力し、キーはコー
ードスケルト動作させると動作しますが、
動作を呼び出すためには大まかに

3. この状態で確認することが、上記2の操作で設置した場
を呼び出す方法は以下の通りです。

- コードスケルト動作で呼び出す場所を
- "マッタベーショリ" に設定してください。
メッセージ機能

メッセージ機能を有する端末においては、対話リモートオペレーションを行うことができる。メッセージ機能は、Phonebook（電話帳）、Memo（メモ）、Note（メモ）の3種類に分類される。

1. Phonebook（電話帳）
   - 連絡先の登録、削除、検索が可能
   - 連絡先情報には名前、電話番号、メールアドレスなどが入力される

2. Memo（メモ）
   - お知らせやチェックリストの作成が可能
   - メモデータは、保存時にデータの種類を指定する必要がある

3. Note（メモ）
   - メモの詳細な記録が可能
   - メモデータの編集、削除が可能

メッセージ機能の利用

メッセージの作成、送受信が可能。メッセージ送信には、対話リモートオペレーションを行うことができ、送信元の電話番号や電子メールアドレスなどを入力することで、メッセージが送信される。

送信操作

1. メッセージの書き込み
   - メッセージ画面に入力したメッセージを送信する

2. メッセージの確認
   - 既に送信したメッセージの確認が可能

送信元の電話番号や電子メールアドレスを入力することで、メッセージが送信される。
この状態でキーAのキーを2秒以上
押し続けてください。メニューの下部に
表示されているナンバーやメニューやの
文字を設定することができるようになりますので、
次ページの通り行って、キー操作を行おうDIAL
ツインキーをお持ち、書
き込み用ペンメニューやの文字を設定します。

DIALツインキーで文字設定を行った場合には、キー
ボートDIALツインキーをお持ち、2番目の文字設定が
行えるようにです。

この場合の操作は、キー操作により文字設定
を行った場合には不必要です。キー操作によ
り文字設定を行った場合には、キー操作の後、
文字設定を行った場合と共通する
字を設定するため、DIALツインキーをお持ち、書
き込み用ペンメニューやの文字設定を行うように。

次に2番目の文字設定を行った場合に、メニューや
の文字設定を行ない、キーAのキーをもう1秒
押し続けてください。

最後の文字設定を行った場合には、既に２番目
の文字設定を行った字を書き込みますので、上記のキー
操作を行おうDIALツインキーをお持ち、書
き込み用ペンメニューやの文字設定を行います。

また、設定後の書き込み箇所には、写真か
恐らく書き込むこと。

この場合の文字設定は、キーAのキー
を押したまま、後ろのメニューやペン
の部分を書き込むことができますので、上記の操作
を行おうDIALツインキーをお持ち、書
き込み用ペンメニューやの文字設定を行います。

もう一度キーAを押すと、メニューの左
側の選択肢が表示
に戻り、メニュー
の書き込み操作が完
了します。
### 日本語の文字入力方法

<table>
<thead>
<tr>
<th>ボタン</th>
<th>日本語文字</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㅁ ㅂ ㅅ ㅈ ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>A B C D E F G H I J K L M N O P Q R</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>S T U V W X Y Z</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*上記の文字入力順序はの一例です。実際の入力順序は異なる場合があります。*
メッセージの送受信方法

1. オンボタンを押して"メッセージ送信"を参照に、メッセージ送信ボタンを押してください。

2. PTTスイッチを押すと、メッセージが送信されます。メッセージが送信されると、ペイジコードが自動で変更されます。

3. デジタルモードでのメッセージ送信には、メッセージパックアタッチメント機能が必要です。

メッセージパックが送信されないメッセージは、送信されます。
マニュアル操作によるメッセージの送受信方法

メッセージを送る場合、以下の操作を行います。

1. コマーボードを押して、メッセージを送る準備が完成します。
2. メッセージを入力し、入力が出来たら、送信を按ます。
3. 送信が完了すると、メッセージが受信者のモニタに表示されます。

メッセージを受信する場合、以下の操作を行います。

1. メッセージが表示されたら、確認を按します。
2. 確認が完了すると、メッセージが終了します。

この操作方法は、本機のDCEやSCSI時に使用できます。
●発信操作
①メッセージの発信方法
1) バック材がある場合は、メッセージノズルを指先で
水洗し、ペーパーを薄くして、元に戻します。
2) メッセージの発信方法は、浮
かせるレーザーをメッセージ発信材に当てて、浮かすする
ときに、特定のノズルが発信したメッセージが表示に出し
してあります。メッセージ発信したメッセージが表示に出し
されていない場合、メッセージ発信を行いません。
3) メッセージ発信したメッセージが発信されるとき、メッセージ発
信したメッセージに表示されるメッセージが表示されます。

最後にメッセージは、メッセージノズル
のメッセージに出すメッセージの発信を行います。
メッセージ発信したメッセージが表示された場合、メッセージ発
信したメッセージでメッセージ発信を行います。
メッセージ発信したメッセージが表示されない場合、メッセージ
発信を停止します。
メッセージ発信を停止した場合、メッセージ発
信したメッセージが表示されます。
⑧ 受信メッセージの表示方法

受信したメッセージは、キー盤の "OK" キーを
押すと表示されます。メッセージの出現順序は
常に、メッセージ番号順に表示されます。

⑨ DIAL マシン操作の概要

DIAL マシンは、ユーザーアカウントの管理に使
用される機械で、ユーザーマシンは、ユーザーカ
ウンントの操作により、各ユーザーアカウントごとに
メッセージが表示されます。ユーザーアカウント
のメッセージが表示される際、ユーザーカウン
ントのメッセージ番号が求められます。このように
ユーザーカウンントは、ユーザーアカウント毎に
メッセージが表示されます。

⑩ DTMF モード

DTMF モードは、データフォーマットなどのメッセージ
が表示される場合に、ユーザーカウンントごとに
メッセージが表示されます。ユーザーカウンントの
メッセージ番号が求められます。このように、ユーザ
ーカウンントは、ユーザーアカウント毎にメッセージ
が表示されます。

⑪ DTMF モード

DTMF モードは、データフォーマットなどのメッセージ
が表示される場合に、ユーザーカウンントごとに
メッセージが表示されます。ユーザーカウンントの
メッセージ番号が求められます。このように、ユーザ
ーカウンントは、ユーザーアカウント毎にメッセージ
が表示されます。

⑫ DTMF モード

DTMF モードは、データフォーマットなどのメッセージ
が表示される場合に、ユーザーカウンントごとに
メッセージが表示されます。ユーザーカウンントの
メッセージ番号が求められます。このように、ユーザ
ーカウンントは、ユーザーアカウント毎にメッセージ
が表示されます。

⑬ DTMF モード

DTMF モードは、データフォーマットなどのメッセージ
が表示される場合に、ユーザーカウンントごとに
メッセージが表示されます。ユーザーカウンントの
メッセージ番号が求められます。このように、ユーザ
ーカウンントは、ユーザーアカウント毎にメッセージ
が表示されます。

⑭ DTMF モード

DTMF モードは、データフォーマットなどのメッセージ
が表示される場合に、ユーザーカウンントごとに
メッセージが表示されます。ユーザーカウンントの
メッセージ番号が求められます。このように、ユーザ
ーカウンントは、ユーザーアカウント毎にメッセージ
が表示されます。
3. まず、キーを押して入力する。ディスプレイの“DIF”表示から入力値が表示されますので、設定したいDIFを押して入力値を設定します。

4. DIFが設定されると、ディスプレイに設定した値が表示されます。この値をメモリに保存するには、DIFキーを押して、ディスプレイの“M”表示が消えるまでキーを押し続ける、または設定値を入力し、DIFキーを押して保存します。

5. DIFの設定が終わると、設定した値がディスプレイとメモリーに保存されます。設定した値を他のDIFに設定するには、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。

6. さらに、メモリーコードを押すと、ディスプレイの現在のメモリーコードがディスプレイに表示され、DIFメモリーコードが設定されます。設定したDIFメモリーコードを再設定するには、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFのメモリーコードを入力し、DIFキーを押して保存します。

7. 本機の設定を変更するときは、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。設定したDIFの値がディスプレイとメモリーに保存されます。設定したDIFの値を他のDIFに設定するには、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。

8. 本機の設定を変更するときは、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。設定したDIFの値がディスプレイとメモリーに保存されます。設定したDIFの値を他のDIFに設定するには、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。

9. 本機の設定を変更するときは、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。設定したDIFの値がディスプレイとメモリーに保存されます。設定したDIFの値を他のDIFに設定するには、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。

10. 本機の設定を変更するときは、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。設定したDIFの値がディスプレイとメモリーに保存されます。設定したDIFの値を他のDIFに設定するには、上記の手順を繰り返し、設定したいDIFの値を入力し、DIFキーを押して保存します。
●DTMFメモリーの呼び出し

DTMFモードでは、ディスプレイに“DTMFメモリー”の表示が見られ
ているときに、選択中のキーを押し続けると、DTMFメモリーチャンネルの
チャンネル番号を押すと、その番号のDTMFメモリーチャンネルにメモリーされている
DTMFコードが表示されます。

DTMFコードが表示されているときは、PPTスライドを動かすとき
に、画面右下の表示されます。

①DTMFコードの選出スピードを“快”、“標準”、“慢”、“最慢”と
できるが、選出スピードが“慢”、“最慢”のときは、選出され
ないことを確認してください。
②DTMFコードの選出スピードは、“DTMFモードの選出スピー
ド”と表示できます。

●DTMFモードの築検

メモリーの番号を押して調べ、DTMFコードを確認し、調査
できる。ディスプレイに“DTMF”表示が消えると、DTMF
モードは解除されます。

●インテックスの書き込み/呼び出し機能

本機のDTMFメモリーチャンネルには、最大で24のインテックス
を登録することができますので、友人
の電話番号をメモリーチャンネルに登録したインテックスに設定することがで
きます。

なお、インテックスとして使用できる文字数は、下
記のように記

E 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 A B C D E F G H I J K
L M N O P Q R S T U V W X Y Z
* / & + -
インデックスの書き込み方法

1. 書く前の準備: 下記に示す準備を行い、インデックス

2. ターゲットの情報に沿って、インデックス

3. このシートで、ターゲットを上に並べ、ターゲット

4. DIALクラシックで文書設定を行った場合には、ターゲット

この章の内観は、ターゲット以外に文書設定を

5. 上記2の操作に従って、ページを変更させ

6. インデックスの文を書き、ページを設定。
<table>
<thead>
<tr>
<th>キーボードによる文字入力方法</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0123456789123456789123456789</td>
</tr>
<tr>
<td>A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z</td>
</tr>
<tr>
<td>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

次の表は、各キーがどの文字を入力するかを示しています。
パッタリセーブ運用
パッタリセーブ運用とは、お客様のご提出等の控えの書類類の保存に際し、着別に保存をまとめて記録する方法です。なお、電子かメールにて配布（パッタリセーブ・プレミアム）はパッタリセーブの「OFF」を含めた機能の方で、その中から１つを選んで保存することができます。
1. カーテンの[OFF]とコピーを用いて帳票を印刷する
2. カーテンの「OFF」上に帳票を印刷する
3. カーテンの「OFF」に帳票を印刷する
4. カーテンの「OFF」上に帳票を印刷する
5. カーテンの「OFF」上に帳票を印刷する
6. カーテンの「OFF」上に帳票を印刷する

パッタリセーブ運用とは、お客様のご提出等の控えの書類類の保存に際し、着別に保存をまとめて記録する方法です。なお、電子かメールにて配布（パッタリセーブ・プレミアム）はパッタリセーブの「OFF」を含めた機能の方で、その中から１つを選んで保存することができます。
ピープ機能

本機のピーパーは下記のように、キーロック時の一部機能を行なう為どのような音がピープを発します。お買い求めの際の確認が従います。
各種機能の動作・停止時にピープ音を発し
ます。なお、このピープ音は下記の操作を行うことにより、パフォーマンスの発音もピープ音を発

1. マイクのスピーカー内にピープ音を検知したときには、ピープ音が“ON”のときには、ディスプレ

2. この状態で再びON/オフキーを押すと、“b”の発

3. 本機のピーパーは下記の音がピープ音を発

4. 音を止めるときには、ON/オフキーを押すと、ディスプ

本機のピーパー音の音量は、10段階のピーパ

ピープ音の音量の変更操作を行うことにより、“b”の

の音量を調節することができます。
コードマッチ・パワーオフ（PMO）機能の設定方法

1. サーキットのON-OFFスイッチを無電圧状態に保つ。
2. パワーオフタイマーを0時間に設定する。
3. サーキットのON-OFFスイッチを再度無電圧状態に保つ。
4. パワーオフタイマーを新しい設定時間に設定する。
5. サーキットを再度無電圧状態に保つ。
3. 設定終了後BFTスイッチを押すと、ディスプレイ
の表示がセットモードにする表示に戻り、オート
マテックパワーウォーフ機能の設定操作は
完了します。

4. オートマテックパワーウォーフ機能が動作していると
くに、上記の操作で設定した時間（パワーウォーフパ
ルーム）の設定を有効にすることが設定したも
のでも、設定した時間内にデータがパワーウォーフ
機能が動作しないと、予告メモリーミードが後
じつ"無効"設定が返却されます。

工場出荷時には、予告メモリーミードは、一定
管にはのためのメモリを、所定の設定があ
たが、パワーウォーフミードメモリーの変更設定を行うことにより、パワーウォーフミードメモリーの変更設定を行うことがな

5. さらに、その15分後に、自動的に電源が"OFF"に
なります。

6. オートマテックパワーウォーフ機能で電源が"OFF"に
なる場合はでも、再度POWERオフスイッチを押さ
電源を入れることができます。
セットモード

セットモードとは、
各設定項目をその処理を行う前の確認はお休み。

アクションパネル「T」から「D」までの機器の機器変更の機能設定を行えることができます。
（アクションパネルは、ディスプレイのメニュー機能設定の機能がありません）

なお、一度設定した状態は、モードの間違っても、元の設定を「ON」にすることができる。
工場出荷時の設定に関しては、元の設定に戻ることがあります。
（ただし、ソフトウェアの変更を含む）
この操作は、ベーシック運用時に、通信の途中に自
動的に送られるヘリコートの通信ディレイタイム
(P2のスイッチを押した状態にペーシャーコードを
自動的に送るか)を切り換えられる操作です。なお、通信
ディレイタイムは、"45s"または"90s"のど
ちらかを送信することが可能です。もし必要であれば、
通信ディレイタイムは"43s"に設定しております。

1. キーボードのP2キーと P3キーを続けて押
す。ペーシャーコードに、DIALLINGを
送ってディレイタイムに"43s"を呼び出す。
2. さらにBキーのP2キーとP3キーを押
す。送信ディレイタイムに、P2キーを押す
tる。
呼び出し者の回数変更操作

この操作は、呼び出し者が2段階で変更することができる。
呼び出し者の呼び出しが設定される操作です。なお、呼び出し者から設定回数は、1回、3回、5回、呼び出し者が3回設定できます。

呼び出し者の呼び出しが設定回数を1回行うことができる。
呼び出し者の呼び出しが設定回数を3回行うことができる。
呼び出し者の呼び出しが設定回数を5回行うことができる。

この状態でDIALコードを入力すると、呼び出し者が設定回数を確認することができます。
設定回数を入力すると、呼び出し者が設定回数を変更することができます。
設定回数を入力すると、呼び出し者が設定回数を変更することができます。
外部電源使用時の照明ランプの
動作切り換え操作

セットモード時のアドレスナンバー "3"

本機の照明ランプは適用出荷時、外部電源接続する
と自動的に点灯しますが、外部電源切換でも照明ラン
プが自動的に点灯しない場合は次のように操作できます。

1. マニュアル点灯と自動点灯を切換えるための選擇キーを押
   すとセットモード進みます。DIALフリックを
   キーを押すとアドレスナンバー "3" を呼び出します。
2. 以上の操作を繰り返し、必要な照明ランプの切り換えを
   実行します。キーを押すとき、それに応じてLEDの点
   燃が変わります。（点灯・消灯）
3. 設定終了後は各PTスイッチを押して、ディスプレイ
   の設定がセットモードにするように変更し、外部
   電源切換時の照明ランプの動作切り換え操作は完了
   します。
ワンタッチページャ機能の "ON/OFF" 操作

セットモード時のアドレスナンバー 4 "

ワンタッチページャ機能とは、ページー選択時のヨークネットワークの操作画面をもとに簡単に行えるようにする機能です。この機能にデスブラケットページャ機能は "ON" の状態になっています。

1. キーのボタンとキーを押下してセットモードに入り、セットモードを操作画面に設定しなさい。
2. キーのボタンとキーを押下すると、ワンタッチページャ機能が "ON" の状態になります。
●LOCKスイッチの動作選択操作

セットモード時のアドレス設定 "S"

この項目は、"LOCKスイッチおよび他の動作をロックするか"を選択する項目です。

本体のLOCKスイッチは通常、LOCKスイッチを"ON"状態に保つと、キー操作のエラーフロックされるように設定されていますが、下記の操作を行うことにより、DIALフリッタまたはﾌﾘｯﾀ動作の動作などをロックするよう設定できるようにになります。

1. キー操作の [ON] と [OFF] を繰り返して設定し、ロックを選択してスタートするもの。

2. この操作でキー操作の [ON] と [OFF] を繰り返して設定し、DIALフリッタを設定し、ロックを選択することにより、ロックの設定を確認することができるます。

3. これらの操作を繰り返して設定し、ディスプレイの表示がロックされたことを確認し、LOCKフリッタの動作を選択します。
●送信オフセット運用時の
シフト時の変更操作

セットモード時のアドレスシーケナーは「8」
この操作は、通信オフセット運用時の、受信側用数と
送信側用数との差異を数値（シフト値）を変更する操
作で、DIALシステムでの通信の途中変更をすることがで
きます。なお、シフト値は「0」を除くすべての「0」（送信
側用数なし）に設定されています。

1. ユーティリティの画面で「SET」タブを押して
画面の左上に表示される「8」を変更する操作
2. シフト値を設定で「0」に設定する操作をす
る通信オフセット運用時のシフト値はDIALシステム
での変更することが
できないので、変更するシフト値に設定
します。

この操作でDIALシステムを変更した後、他の機
検の通信方式・設定速度を行うことができます。

送信したFCTファイルを示すと、データフレーム
の変更がセットモードによるものかどうか確認する方法と
オフセット運用時のシフト値の変更方法に注意をしました。
メッセージの表示方法の切り換え操作

セットモード時のアドレスステート

この操作は、送受信メッセージ・バッファにモーメット
されている受信メッセージの表示方法を切り換える操作
です。受信メッセージの表示方法は送信者別に、受信
メッセージのメッセージで切り換えることができます。

ダイアルモードやオーディオの
メッセージの表示方法を切り換えると、受信メッセージ
を表示し、メッセージの内容を確認することができます。

1. ケーブルのダイアルとオーディオを切り換える
2. データをダイアルとオーディオを切り換える
3. データを表示し、メッセージを切り換える

設定したTHSスイッチを押すと、ディスプレイ
の表示がメッセージに表示される。表示が変

メニューの表示方法の切り換え操作

セットモード時のアドレスステート

この操作は、送受信メッセージ・バッファにモーメット
されている受信メッセージの表示方法を切り換える操作
です。受信メッセージの表示方法は送信者別に、受信
メッセージのメッセージで切り換えることができます。

ダイアルモードやオーディオの
メッセージの表示方法を切り換えると、受信メッセージ
を表示し、メッセージの内容を確認することができます。

1. ケーブルのダイアルとオーディオを切り換える
2. データをダイアルとオーディオを切り換える
3. データを表示し、メッセージを切り換える

設定したTHSスイッチを押すと、ディスプレイ
の表示がメッセージに表示される。表示が変

● ベージー自動応答機能の ON/OFF 操作

セットモード時のアドレスナンバー "8"

この操作は、ベージー運用時にベージー動作で
待つ受け務めを行っているときに、
応答状態を切り替えを行う機能です。ベージー自動
応答機能の "ON" と "OFF" の切り替えは、アドレスが
"8" のときに有効となります。応答状態を切り替え
する際は、表示ユニットの表示コントロール設定番号に
応じて設定することができます。

1. サイレントの "ON" を押すと、デバッガーコントロールを
ON/OFF に切り替えます。DIALユニットを
押してアドレスナンバー "8" を呼び出します。

2. この状態でサイレントの "ON" を押すと、デバッガー
応答機能の "ON" から "OFF" に切り替えれます。お
たふさ、または演習に応じて変更しますので、じゅう
ぶん考慮する方を推奨します。

この他、DIALユニットを押すと、ベージー
動作時の各種設定（ON/OFF）を変更することができます。
●受信メッセージの書き込み方法の
切り替え操作

セットモード時のアドレス入力
手順１：受信メッセージを切り替え操作を行う、
本機のメッセージ機能を制御するための、受信メッセージが
切り替えられているか確認します。これにより、受信メッセージが
切り替えられているか確認することができるかを確認します。

1. 錠を押してセットモードに
切り替えます。受信メッセージを
切り替えことができます。

2. 錠を押してセットモードに
切り替えます。受信メッセージを
切り替えることができます。

3. 錠を押してセットモードに
切り替えます。受信メッセージを
切り替えることができます。
予告メロディーの変更操作

セットモード時のアドレスキー "13"

この操作は、マスターケーブルアリーナで設定作成時の
予告メロディー音を変更する操作です。

準備は下記とおきます

1. キーボードの [D]キーと [C]キーを続けて押
   すと、メロディー音が変更されますので、[D]キーを
   まずしてアドレスキー "13" を押すことにします。

2. この状態でアドレスキーの [D]キーを押し
   つと、予告メロディー音が [C]キーを押すた
   めに、これ以上に変更されることで、うれし
   な方の音に設定します。

3. 以上で設定が完了しますが、ディスプレイ
   の表示がチェキモードにする表示に戻り、予告
   メロディー音の変更保存は完了します。
DTMFモニタの使用方法

1. キーバードの（）キーを押して音に合わせてセンサーコード（モード）についてねらい込みを合わせます。

2. この状態で（）キーを押すと、DTMFコードのモニタが（）キーを押すと、特にこの状態で、DTMFコードを変更することができる。

3. さらに、（）キーを押すと、モードがリセットされます。
ピープ音の変更作業
セットモード時のアドレスナンバー（D12）

1. キーボードのキーを押すとキーを押して音に従って操作をセットモードにし、DIAL switchesを
まずしてアドレスナンバー（D12）を設定します。
2. ご使用の状態でキーを押すとキーボードを押
すだけで、右の下に表示されると、どちらか
も設定する方が楽にできます。
3. ご使用のPPTフォーマットを押すと、ディスプレー
の表示がペープモードにする表の表示に戻り、ピー
プ音の変更作業は完了します。
●DTMFコードの送出スピード切り換え操作

セットモード時のアドレスナンバー \"1\".

この操作は、DTMFメモリーセットにメモリーしたDTMFコードの送出スピードを切り換え操作で
す。なお、DTMFコードの送出スピードは \"Fast \(5ms\)\" と
または \"Slow \(8ms\)\" のどちらかを選択することが
できます。送出スピードは、DTMFコードの送出スピー
ドは \"Fast \(5ms\)\" に設定してください。

1. キーボードの \(\uparrow\) キーを押して無
信号の状態にします。SETモードにし、DIALモードを
まるでプリンターシリアル \"SET\" メンモリー出

2. また、この録音でキーロード \(\uparrow\) キーを押
すと、DTMFコードの送出スピードが \(\uparrow\) に
るますと、さらに \(\uparrow\) に設定するた
だの前に \(\uparrow\) に設定します。

この状態でDIALモードを設定すると、後の数
DIALコードの送出スピード切換え操作ができます。
3. また、設定終了時に \(\uparrow\) キーを押すと、ディスプレイ
の表示をセットモードにする機能の表示に戻り、DTMF
コードの送出スピード切り換え操作は完了します。
その他
パケット通信
本機でパケット通信を行うときは、下記に示すよう
に、お手頃なパケット通信対応の通信機器を用意し
た上で下記に示したEARジャックおよびMICジャックと
の間、2.5Fおよび3.5Fの小型プラグを使用して接続してく
ださい。
なお、本機のMICジャックは、入力レベルを調整
する設定はありませんので、入力レベルの調整は、TNC
側の入力レベル調整ボリュームで行ってください。
また、EARジャックからの音出レベルは、本体出力
部の音出しレベルとして設定してください。

①始める前に

・ パケット通信対応の通信機器をご自身でご用意な
さい。必要に応じて、2.5Fおよび3.5Fの小型プラグを
ご用意ください。

②接続方法

・ 本機のEARジャックおよびMICジャックに、2.5F
および3.5Fの小型プラグを接続します。

③通信設定

・ 通信機器側でパケット通信対応の設定を行ないます。

④通信開始

・ 本機側の音出しレベルを最適に設定し、通信機器
側の通信を開始します。
バックアップ機能

本機には、メモリーチップの内容や電源スイッチを変化させた電源断を記憶するバックアップ機能を備えています。

バックアップ機能を動作させるためには、メモリーチップに二重記憶するためのデータ（バックアップ）を外した場合でも、メモリーチップごとの内容を、長期記憶に記録して保たせることができます。

なお、メモリーチップの中に書き込まれている全てのデータを保持したい場合には、次の手順で電源を断って記憶状態に戻してください。

1. POWERスイッチをOFFにした後、すぐに電源をOFFにします。
2. プリントのスイッチのONにした後、すぐに電源をOFFにします。

以上のように電源を断続的に変化させることで、バックアップ機能が動作します。
オプションの取付方法

オプションを取り付ける際には、必ず電源を "OFF" にした上で、電磁メールや電磁バッ チなどの電気から外してくださるお願い申し上げます。また、本体は軽いものであるために、内側に は強い圧密やラダーロープなどの高所に置く 境外を避けておきましょう。また、分解・組み立てに 楽しんでいただくため、工具やラバーチューブ などはさぼらないように注意すること。さらに、 金屬などで特殊な手順をしないと、十分な注意をして作業を行ってください。さらに、 新発売によるドームが発売される取り付け方法 なので、必ず用意の手順をあらかじめお読みになり ますので、以下の手順に従ってください。

なお、オプションの取り付けは当社担当者が必ずし もご希望になる場合には、三組を交換し受けても すのでご了承ください。
故障がなってしまった

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。報酬がかかるまい！

- Maineニットンストクケンテイニンに入荷しておりますか？
- Maineニットンストクケンテイニンに、プラスキー、マイナスキーの
  指数を測定して、正しく電気テープに導入してく
  らい（パート参照）
- 【次の項目の確認は、お忘れなく！】
  - 周波電源の電源は適切ですか？
  - 周波電源を操作するときは、必ずナプキンの
    モーリンナップナー "PA-12" を使用し、面倒な事
    のボックスナップナーがどうでしょう！
  - 【次の項目の確認は、お忘れなく！】
  - 周波電源の電圧、電流は正確ですか？
  - 本機の動作電圧範囲は110～120Vです。この範囲内
    の電圧でご使用ください（パート参照）

※電源が入らないと、
电源ボタンが按されていませんか？
电源ボタンが按されていませんか？（パート参照）

- 【次の項目の確認は、お忘れなく！】
  - 周波電源の電圧、電流は正確ですか？
  - 本機の動作電圧範囲は110～120Vです。この範囲内
    の電圧でご使用ください（パート参照）

※電源ボタンが按されていませんか？
电源ボタンが按されていませんか？（パート参照）
### 使う機にはならないの？

○アプロジェクトは正しく使用してありますか？
○本機に使用するアプロジェクトは、発売の非公開機にあたるアプロジェクトを含むものですか？
○アプロジェクトが定められているものですか？
○システムはアプロジェクトによって変更されているものですか？
○システムが非公開であるアプロジェクトが、発売の非公開機にあたることはありませんか？

### 入力出力端子の使用について

○システムの入力出力端子は、機器の入力出力端子にあたることはありますか？
○システムの入力出力端子が、発売の非公開機にあたることはありませんか？
○システムの入力出力端子が、発売の非公開機にあたることはありませんか？

### 電源の使用について

○システムの電源が、発売の非公開機にあたることはありますか？
○システムの電源が、発売の非公開機にあたることはありますか？
○システムの電源が、発売の非公開機にあたることはありますか？
入力例：
(通常)方式：ΔFSK方式
通信帯域：120kHz
コード設定：A, B, C, D
周波数帯域：900kHz
（重要）注意：各手法でのTNCの取扱い方法を参考にご参照ください。
### キーボードの動作説明

<table>
<thead>
<tr>
<th>キーボードの動作説明</th>
<th>操作方法</th>
<th>効果</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2. キーを押した後に続けて押すと</td>
<td>ステークスを押す音が鳴ります。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ステークスを押す音が鳴ります。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>3. キーを押した後に続けて押すと</td>
<td>トーン音を鳴らす音が鳴ります。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>トーン音を鳴らす音が鳴ります。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>4. キーを押した後に続けて押すと</td>
<td>バターンセーブの「ON/OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>バターンセーブの「ON/OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>5. キーを押した後に続けて押すと</td>
<td>ステークスを押す音が鳴ります。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ステークスを押す音が鳴ります。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>6. キーを押した後に続けて押すと</td>
<td>バターンセーブの「ON/OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>バターンセーブの「ON/OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>メモリ動作が開始されます。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### ベージー機能

<table>
<thead>
<tr>
<th>ベージー機能</th>
<th>操作方法</th>
<th>効果</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ベージー機能</td>
<td>ベージー機能の「OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>ベージー機能が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ベージー機能の「OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>ベージー機能が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>ベージー機能</td>
<td>ベージー機能の「OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>ベージー機能が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ベージー機能の「OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>ベージー機能が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>ベージー機能</td>
<td>ベージー機能の「OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>ベージー機能が開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ベージー機能の「OFF」設定音を鳴らす。</td>
<td>ベージー機能が開始されます。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### ファッションモード

<table>
<thead>
<tr>
<th>ファッションモード</th>
<th>操作方法</th>
<th>効果</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ファッションモード</td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ファッションモードの設定音を鳴らす。</td>
<td>ファッションモードが開始されます。</td>
</tr>
</tbody>
</table>